

# 危機の向こうのベネズエラ

## —政治・社会・民衆文化から読む歴史と現在

参加費無料

本年1月の米軍侵攻を契機に、あらためて世界の注目を集めるベネズエラ。世界有数の産油国でありながら、近年は政治・経済の混乱を通じて語られることも多いが、約200年前にはシモン・ボリバルに代表される中南米独立運動の中心地として、世界史に大きな衝撃を与えた。

本講演会では、ベネズエラの20世紀の歴史・政治・経済・社会・文化を中心に、真珠採取、エルドラド探検、カカオ、コーヒー、独立運動にも目を配る。あわせて野球、ミスコン、音楽などの文化、人びとのメンタリティと暮らしなど、現代ベネズエラを理解するための多角的な話題を提供する。

講師は、『ベネズエラを知るための60章』（明石書店、2026年6月刊）の編著者である石橋純氏ならびに同書の共著者2名。ベネズエラ音楽の実演も予定している。

2026年

日時

7月4日 土

17:30~19:00

会場

オンラインZoom

対面（学内者のみ）

池袋キャンパス5号館5324教室

講師

石橋 純氏（東京大学教授）

牧野 翔氏（写真家、音楽家）

漢那 朝子氏（ライター）

ナビゲーター

松本 未生氏（西語通訳・翻訳家）

申込

オンライン参加



定員300名

対面参加 学内者のみ



定員80名